

第2回 木曾川中流域かわまちづくり協議会

これまでの経緯について

- 木曽川中流域において、岐阜県・愛知県の関係市町及び木曽川を管理する国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所が連携し、既存の資源を最大限に活用した流域の魅力の向上、木曽川を基軸としたヒト・マチ・オモイのネットワーク化を図り、安全・安心で賑わいのある豊かな川のある暮らしを実現することを目的に「第1回木曽川中流域かわまちづくり協議会」を開催。
- 設立趣旨・規約が承認され、協議会が発足となった後、委員である7市町の首長から、木曽川を軸とした連携・協働への想い(次頁)の表明、続く意見交換では、今後の木曽川中流域におけるかわまちづくりの方向性や可能性、課題等についての幅広い発言がなされた。

開催日: 令和2年11月5日(木)

会場: リバーポートパーク美濃加茂 2F 大ホール・イベントスペース

出席者:

【委員】美濃加茂市長、各務原市長、可児市長、坂祝町長、犬山市長、江南市長、扶桑町長

【河川管理者の長】木曽川上流河川事務所長

【オブザーバー】岐阜県、愛知県

議事:

- 1) 挨拶
- 2) 設立趣旨・規約(案)について
- 3) 木曽川を軸とした連携・協働への想いについて
- 4) その他

リバーポートパーク美濃加茂(会場)

美濃加茂市のかわまちづくり事業の一環として平成30年に開業した、「五感を刺激する遊びと学びを体験できる公園」がコンセプトの公園。芝生や河畔、森林エリアのほか、バーベキュー広場や、木曽川でのリバーアクティビティを楽しむことも可能。



協議会の発足



意見交換の状況



発足を記念した集合写真

第1回木曾川中流域かわまちづくり協議会 開催概要

木曾川を軸とした連携・協働への想い



▲伊藤 美濃加茂市長

- 美濃加茂は木曾川があって発展してきたが、昭和58年に大水害を経験し、木曾川には入るな、近づくなという考えが長くあった。近年はかわまちづくり事業により、川の恐ろしさとありがたさの両方を共有できるよう方向転換を図っている。
- 健康と食で7市町を繋ぐイベントを開催してはどうか。
- これから始まる市町の連携を、全国に発信したい。



▲山田 犬山市長

- 市内では、国宝犬山城、木曾川うかい、桃太郎神社、栗栖地区の竹林遊歩道、ロングラン花火にあわせた夜市など、魅力は豊富にある。
- 川は人々を分断するのではなく、繋ぐものであってほしい。
- かわまちづくりを官民連携で進め、市町を超えた広域的なコミュニティを形成し、新しい価値を生み出したい。



▲浅野 各務原市長

- 市内の木曾川沿いの、ハイウェイオアシス、リニューアルした航空・宇宙博物館など魅力が多い。
- 2022年放映予定のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を機に、市内の承久の乱の古戦場跡などを活かし、観光客の増加を期待したい。
- 川が育む自然環境の活用には市町連携が不可欠である。移住・定住・交流人口の増加につなげたい。



▲澤田 江南市長

- 木曾川を長江に例え、川の南にあることから江南の名称がつけられた。
- 市内の木曾川河畔がNHK連続ドラマ「半分、青い。」のロケ地となり、美しさを再発見した。
- フラワーパーク江南では、公園内の花植え等に多くの市民ボランティアの方が参加してくれている。
- 市域を超えた資源を活用することも考えられる。



▲富田 可児市長

- 可児市はボランティアの存在が大きな特徴である。
- 最近の子供は自然とふれあう機会が少なく、子供の運動能力低下に繋がっているという指摘もあり、川の恩恵とともに川の怖さ、治水対策を学んでほしい。
- 協議会では愛知県の皆様とも連携できることが非常に嬉しく、取組を通じて関係が深まっていくことを期待している。



▲鯖瀬 扶桑町長

- 扶桑町は大きな観光資源がないが、扶桑町から犬山市へ抜けるサイクリングロードを多くの方に利用していただいている。
- 扶桑緑地公園から木曾川を眺められず、駐車場もすぐ満車になる。また、近くに飲食店等も少ない。
- 整備などにより、もっと交流できると思う。
- 手を取り合いながらまちづくりを進めていきたい。



▲柴山 坂祝町長

- 日本八景に選ばれた木曾川だが、昭和58年の災害を契機に近寄りたいたいという負のイメージがついた。
- 木曾川の文化・歴史・景観を見つめ直したまちづくりを進めていきたい。
- 坂祝町でもかわまちづくり計画の検討を進めている。
- 市町、県、国が協力して考えていくための場として、協議会には意義がある。



▲高橋木曾川上流
河川事務所長

- 7市町にそれぞれどのような魅力があるのかを、お互いに知ることも大切だと感じた。
- 7市町が連携して市民参加型のイベントを開催するのも良いのではないかと感じた。
- いただいたご意見については、今後の活動に生かしていきたい。
- 是非、皆様で協働の取り組みを実現できたらと思う。

第1回実務者勉強会 開催結果について

- 令和2年11月5日に実施した「第1回木曾川中流域かわまちづくり協議会」を受け、7市町のかまちづくりに係る連携方策(案)の具体化のため、「第1回実務者勉強会」を実施した。
- 勉強会では、各市町担当者より市町を代表する地域資源として6箇所を選定し、上流の可児市から下流の江南市まで一般道を利用しながら地域資源を視察し、参加者で魅力を共有した。
- 木曾川沿川には多くの魅力的な地域資源が分布していること、上流から下流まで徒歩や自転車で移動するにはかなりの時間を要すること等の意見があった。

開催日: 令和2年12月10日(木) 9:00~12:30(意見交換会12:30~13:30)

出席者: 7市町(美濃加茂市、各務原市、可児市、坂祝町、犬山市、江南市、扶桑町)かわまちづくり担当者、木曾川上流河川事務所

■視察行程

No.	見学箇所	市町
1	木曾川渡し場遊歩道(かぐや姫の散歩道)	可児市
2	太田宿中山道会館	美濃加茂市
3	日本ラインロマンチック街道	坂祝町
4	栗栖園地	犬山市
5	木曾川扶桑緑地公園	扶桑町
6	すいとぴあ江南 ※各務原市の地域資源についても説明	江南市



木曾川上流河川事務所による挨拶



日本ラインロマンチック街道での視察の様子



太田宿中山道会館での説明



すいとぴあ江南での説明